

TALK SESSION

街場の家と 建築を考える 神戸の未来

「スポンジ化」を防ぎ、
魅力ある都市空間へ



日時 **2024年4月24日(水) 18:30~20:00** 受付開始 18:00~

会場 **神戸三宮シアター・エートー**
各線三宮駅より徒歩約3分 神戸市中央琴ノ緒町5丁目6-9

定員 **100名** 入場無料(要予約・先着順)

空き家活用に関わる建築家と、神戸市長が語り合う。これからの神戸について、一緒に考えませんか。



街場の建築家と考える神戸の未来

「スポンジ化」を防ぎ、魅力ある都市空間へ

人口減少が続いている。
都市のサイズがそのまま、人口が減少すると、都市空間の密度が低下し、散発的に空隙＝空き家が発生する。

その数が相当数に達すると、都市の「スポンジ化」が起こる。
インフラの維持管理の非効率化や治安、景観の悪化などが進行し、放置しておく、都市の魅力が低下し人が流出し、さらにスポンジ化が進む悪循環に陥る。

人口減少に歯止めがかからない現代、増え続ける空き家とどう向き合うべきなのか。神戸は、どのように都市の魅力を維持し続け、どんな未来をめざすべきなのか。

市長と、空き家活用の最前線に立つ建築家が語り合う90分。これからの神戸について、一緒に考えませんか。

申込先

下記、WEB サイトよりお申し込みください。

受付期間

2024年4月1日(月)15:00より2024年4月23日(火)23:59まで。
ただし、先着順のため、満席になった場合その時点で受付を終了させていただく場合があります。



神戸市公式イベントサイト
おでかけKOBE

<https://event.city.kobe.lg.jp/event/ncmvZ4Y9mGyF7EInclLoi>

お問い合わせ先

神戸市総合コールセンター
(9:00～21:00 / 年中無休)

☎ 0570-083-330
または 078-333-3330

パネラー



西村 周治氏

合同会社 廃屋

1982年京都府生まれ。大学を卒業後、ボロボロの長屋を改装して住み始めたことを機に DIY に目覚め、神戸市内の廃屋を改修しつつ転居を繰り返す。神戸R不動産にて営業職を経験した後、2018年に有機的な建築集団「西村組」を結成。“無理をしない”を合言葉に日々廃屋と向き合う。現在、一級建築士事務所「西村組」の組長、不動産会社「合同会社 廃屋」の代表を務める。



川上 真誠氏

クラウドアーキテクト

1986年神戸市生まれ。神戸市北区在住。関西大学建築学科卒業後、世界23カ国を周遊、設計事務所勤務を経て2019年クラウドアーキテクト設立。住宅や店舗等の設計から公共空間(北神図書館は前職で担当、現在は岡場駅前広場の設計を共同で行っている)の設計まで、「環境と接続する建築」をテーマにその場所ならではの、その人ならではの、その地域ならではの建築をつくるべく様々な設計活動を行なっている。



小畦 雅史氏

小畦雅史建築設計事務所

1976年奈良県生まれ。神戸市須磨区在住。2004年神戸大学大学院自然科学研究科建設学専攻修了。2005年より神戸の建築設計事務所で10年間勤め、2012年に小畦雅史建築設計事務所設立。住まい・店舗を対象に新築から1室のみのリノベーションの設計監理を行う。また、DIYを取り入れた施工プロセスのプロデュースを行い、家づくりを住み手に近づけようとする試みも進めている。



秋松 麻保氏

融点株式会社

1983年大阪生まれ。神戸市垂水区在住。京都工芸繊維大学卒業後、建築の世界から離れアパレル会社に入社し、オリジナルアクセサリーブランドを立ち上げ独立。その後再びイタリア人建築家の元で既製概念に囚われないモノづくりを学ぶ。近年はマーケット会場デザインや運営にも携わる。また、地域コミュニティの「場づくり」に興味をもち、自宅敷地内の空き家をまちライブラリーに改装し、住み開きを始動。



松村 淳氏

神戸学院大学人文学部講師

1973年香川県生まれ。関西学院大学で社会学を、京都造形芸術大学で建築デザインを学ぶ。設計事務所勤務等を経て2017年に関西学院大学大学院社会学研究科にて社会学の博士号を取得。社会学の知見から、建築・都市・まちづくりを研究している。近年は空き家を改装したcommonsが果たす様々な可能性に着目し日々、研究と実践を行っている。



久元 喜造市長

神戸市長

1954年神戸市兵庫区生まれ、1976年東京大学法学部卒業、同年旧自治省入省。内閣審議官、総務省選挙部長、同自治行政局長などを経て、神戸市副市長。2013年に神戸市長に当選、現在3期目。2022年4月から指定都市市長会会長に就任。

司会・コーディネーター